

広報ひだ

2022年

8月

No.223



もくじ

- 特集「産直市場の魅力を探る」(2~4)
- 情報の広場(5~13)
- 連載の庭(14~15)
- 戸籍の窓(16)
- まちの話題いろいろ(17~19)
- まちづくりレシピ(20)



まちの話題を発信中!

市内のまちの話題をホームページとSNSで発信しています。

下のコードをスマホで読み取り、閲覧画面にお進みください。

市民の皆さんの活躍や
頑張りを紹介していま
す。





産直市場の魅力を探る

顔が分かる生産者と食卓を直接結ぶ 旬の飛騨市産野菜と出会える場

飛騨市は、面積の9割以上を森林が占めており、このうち約7割が広葉樹という豊かな自然に囲まれています。全国的にも恵まれた環境の中で暮らす私たちは、さまざまな恵みを豊かな森からいただいています。

私たちの暮らしに直結しているのは「水」。広葉樹の森にあふれるミネラルをたっぷり含んだ豊かな水が、川へ里へ長い時間をかけて送り出され、さらには田畑へ供給されることで私たちの暮らしを支えています。

市では、豊かな自然からの恵みに感謝し、生産者が活躍できる場、生産者と消費者をつなぐ舞台として産直市場の活用を推進しています。

みなさんは「産直市場」に行ったことがありますか？今回は産直市場の魅力と役割を探ります。



産直市場の役割

～地域の食と人が集う場～

「産直市場」は地場野菜の専門店。スーパーとは役割が異なり、経済波及効果以上に大切にしていることが大きく2つあります。

1つ目は、新鮮でミネラルたっぷりの貴重な食材を無駄にすることなく活用するため、規格外品も提供しています。食材を極力余すことなく、食卓へ届ける努力をしています。

2つ目は、生きがい農家の支援です。市内では専業や兼業など、さまざまな形で取り組む農家さんが活躍していますが、実は定年退職後などに「生きがい」として農業に取り組んでみえる方も多くいます。「大量に、決まった量を供給できるわけではないが、大事に育てた少

量の野菜を、広く皆さんに味わっていただきたい」と考える方々の受け皿として、販売を受託し、気軽に出品していただける仕組みという役割も担っています。

生産者の「顔」が分かることで、こだわりや安心安全が実感でき、生産者ごとにファンができるという好循環にもつながっています。また、地域に受け継がれている伝承作物も大事にしています。その土地ならではの野菜は、大量に栽培できるとは限りません。そうした少量生産の伝承作物も、栽培される方の思いを受け止め、販売の面から応援しています。

市内には、神岡朝市クラブ、三寺めぐり朝市、飛騨産直市そやなの3つの産直市場があります。

近くの産直市場に行ってみよう

宝探しのように地元の野菜と特産品の魅力を再発見!

神岡朝市クラブ



地元の朝採れの新鮮野菜や民芸品がいっぱい!『道の駅スカイドーム神岡』の朝市広場にあります。

■住所
飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6

■電話 0578-82-5700

■営業日・時間(令和4年度)
4月下旬～6月:8～12時
7～9月:8～15時
10月～11月23日:8～13時
11月24日以降は冬季休業

三寺めぐり朝市



瀬戸川の近く。飛騨古川の新鮮野菜がたくさん並んでいます。不定期にイベントも開催しています。

■住所
飛騨市古川町吉之町10-1

■電話 0577-73-5501

■営業日・時間(令和4年度)
4月中旬～11月:8～15時
※12月は土日のみ営業

■定休日
火曜日
※祝日やお盆期間は休まず営業
冬期休業

飛騨産直市そやな



今年7月に新築オープン!
市内全域の野菜が集合し、地域内外の方に市の魅力を発信します。

■住所
飛騨市古川町上町1348-1

■電話 0577-57-8998

■営業時間
8:00～17:00

■定休日 年末年始

トマト店長
ピーン!



※営業日・時間等は施設によって変更する場合があります

「産直市場そやな」が新築オープン!

市内の新鮮野菜と特産品・市の魅力発信を強化

「トマト店長」セレクトの逸品やイベントで通年のにぎわい

30年以上にわたり、飛驒のスーパーなど販売と流通の最前線で飛驒野菜と向き合ってきた「トマト店長」こと牧ヶ野芳男さんが店長に就任。店長の全国各地との交流から生まれた人脈を生かし、実演販売などのイベントを開催予定。通年でのにぎわい創出に取り組みます。



道の駅の集客力を市のPRにも活用

道の駅という潜在集客力の高い施設に隣接している地の利を生かし、市ならではの商品のPRを強化。

特産品や薬草などを販売する他、えごま商品とその場で味わえる店舗を設け、飛驒市の特長をPRし、魅力を伝えることで交流人口の拡大や産業振興に寄与します。



「広葉樹のまち飛驒市」をイメージできる店舗・クラフト作品も販売

建物には岐阜県産の木材をふんだんに活用し、特に内装と木製什器は、飛驒市産広葉樹だけを使って製作されています。

飛驒の広葉樹に囲まれた野菜畑をイメージした造り、そして森と食卓が水を通じてつながっている循環をコンセプトとした空間になっています。

また、「飛驒の匠」の技を活かした作品もあり、木の国・飛驒を強く印象づける空間にもなっています。



あなたも委託販売してみませんか?

さまざまな魅力にあふれた「産直市場」への参加は敷居も低いです。「自慢の野菜を広く味わってほしい」という熱い思いがあれば、申し込みをして、簡単な面接審査と書類提出を経れば、すぐに委託販売ができます。関心のある方はぜひ、最寄りの産直市場へご連絡ください。

また、高齢化が進む飛驒市では、産直市場まで野菜を届けるのが難しい生産者もいます。そうした要望に応じ、今年度試験的に河合・宮川地区と山之村地区へ集荷にうかがう取り組みを始めました。両地区で集荷を希望される方は以下までお問い合わせください。



集荷の様子

問 食のまちづくり推進課 ☎ 0577-62-9010

Hida City information 市役所からのお知らせ

お知らせ 避難準備情報の通知

市では、洪水や土砂災害で避難情報発令の可能性がある場合、事前に「避難準備情報」を発表します。この情報は、今後避難情報の発令が予測され、その後実際に発令された場合に、市民のみなさまがすばやく避難行動がとれるよう、避難の準備を促すものです。

「避難準備情報」は避難情報と同様で、対象となる地域を絞って通知します。

この情報が通知された場合、対象となる地域の方々は、避難先の確認や非常持出し品の確認を行い、いつでも避難できる準備をお願いします。



飛騨市では、避難情報の発令前に
“避難準備情報”を通知します！

警戒レベル	避難情報等
5	緊急安全確保
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水注意報
1	早期注意情報

問 危機管理課 ☎0577-62-8902

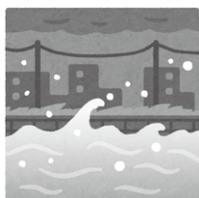
募集 飛騨市の災害に関する「言い伝え」を募集

昔からの「言い伝え」は、先人の貴重な体験です。その先人の教えを知ることにより、未来の災害に備えることを目的として、災害、防災に関する「言い伝え」を募集します。

「〇〇川の□□岩が沈むと、家に水が付く」、「△方向からの夕立は大雨になる」、「ヘクサンボが多い年は雪が多い」など

■募集方法

下記コードまたは神岡消防署までご連絡ください。



問 神岡消防署 ☎0578-82-1119

お知らせ 空家の実態調査

市は、全市域を対象として空家の実態調査をします。期間中は、市が委託した業者の調査員が、調査のため市内を巡回しますので、調査へのご理解とご協力をお願いします。

■調査期間

9月1日(木)～10月31日(月)
※調査の進捗状況により期間を延長する場合があります

■調査内容

空家と思われる建物の外観調査および写真撮影（※調査員は市が交付した調査員証を携行します。調査員が私有地に立ち入ることはありません）

■委託業者

株式会社ゼンリン岐阜営業所（岐阜市藪田南一丁目6-3）

問 総務課 ☎0577-73-7461

高山警察署からのお知らせ

規制速度が変わりました！

高山市国府町金桶地内の市道名張上切線は、本年3月から30キロ規制となりました。

市道名張上切線は、一部が通学路に指定されており、住宅が密集する生活道路です。

道幅が狭く危険な道路ですので、飛騨市の皆さんも通行する場合は、走行速度に注意してください。



問 高山警察署 ☎0577-32-0110

お知らせ

マイナンバーカードの取得はお済みですか 早めの申請を

マイナンバーカード未取得の75歳未満の方には、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）から9月上旬頃にかけて、順次QRコード付き交付申請書が送付されます。75歳以上の方には、今年3月頃に申請書が送付されています。

市でもマイナンバーカード普及促進のため、8・9月の毎週日曜日9～12時、市役所本庁舎および各振興事務所において、休日申請等窓口を開設しますので、お気軽にご利用ください。

現在、マイナンバーカードを9月末までに申請し、健康保険証利用申込、公金受取口座の登録により、最大2万円分のマイナポイントがもらえます（令和5年2月末まで）。ご自宅でスマートフォンからも申請できますので、お早めの申請をお願いします。



■マイナンバーカードのメリット

①健康保険証として利用可能

今までに処方された薬剤や、過去の特定健診結果を医師・薬剤師等と共有することで、正確な情報に基づいた総合的な診断や適切な処方を受けることができます。（申込制で本人同意が必要）

②公金受取口座登録で申請が簡単！

年金、児童手当など、今後の給付金などの申請をするときに、口座情報の記入や通帳の写しなどを提出する必要がなくなり、より迅速に受け取ることができるようになります。

問 市民保健課 ☎0577-73-7464

お知らせ

ごみ出し支援アプリ版・ウェブ版「さんあ〜る」の配信開始（8月1日から）

お住まいの地区を設定することで、収集日をカレンダー表示で確認できるスマートフォン用アプリです。また、50音検索による分別帳にて、どうやって出せばいいのかを確認できます。市ホームページにて操作方法を掲載しています。

ウェブ版もあり、アプリをダウンロードしなくても利用できます。（右記コード）

■インストール方法

各ストアより「さんあ〜る」を検索し、アプリをインストールしてください。インストールは無料ですが、通信費は必要です。下記コードからもインストールできます。



さんあ〜る
アイコン



App Store
(iOS)



Google play
(Android)



ウェブ版

問 環境課 ☎0577-73-7482

お知らせ

9月10日は『下水道の日』

■下水道への接続について

生活に身近な下水道は、生活環境の改善・河川の水質保全など、暮らしの環境づくりに大きな役割を担っています。

下水道の使用区域では、水洗便所、風呂、台所などからの生活排水を下水道に接続することによりはじめて機能を発揮します。

住みよい環境づくりのため、接続していない事業者や市民の皆さんには、一日も早い接続をお願いします。

※下水道接続工事費について、「資金融資あっせん助成制度」があります。詳しくは下記までお問い合わせください

問 水道課

☎ 0577-73-7484

お知らせ

空き家情報サイトの利用を

飛騨市では、市内不動産業者と連携し空き家情報サイト「住むとこネット」を運用しています。

空き家を持っており、空き家を手放したいなどで悩んでいる方はお気軽にご相談ください。

家財の処分に関する補助制度等もご紹介します。



問 総合政策課

☎ 0577-73-6558

募集

「広報ひだ」市民ライター募集（対象：神岡在住者）

市から依頼を受けて市内のイベント、行事等を取材（写真撮影・記事作成）していただける方を募集します。頻度は曜日を問わず毎月5回程度。

■募集対象

神岡町在住で、一眼レフカメラを所有し、取材データを電子メール等で提供できる方。

■取材記事の活用

広報ひだ、市ホームページ、SNS等に掲載します。

■謝礼・交通費

- ・取材1回あたり3,520円
- ・交通費（自宅から取材先まで片道2km以上の場合）

※いずれも所得税を源泉します

問 総合政策課

☎ 0577-62-8880

お知らせ

飛騨市建設業・製造業就職面談会

建設業・製造業就職面談会を開催します。当日は「介護就職デイ」と合同開催です。お気軽にお出かけください。

■日時 9月27日（火）

13:00～15:00

■会場・参加企業

【建設業・製造業就職面談会】

飛騨市役所西庁舎3階 大会議室

建設事業者 3社程度

製造事業者 3社程度

【介護就職デイ】

福祉事業者 4社程度

■その他

飛騨市図書館2階にじのひろばにて託児スペースを設置予定

問 商工課

☎ 0577-62-8901

お知らせ

飛騨市家計応援プレミアム商品券を発行

市内2つの商工団体共通のプレミアム率20%を付与した「飛騨市家計応援プレミアム商品券」を発行します。

■対象者 市民

■販売金額 5千円で6千円分の商品券購入可能

■購入限度 お一人様2口まで

■販売期間 8月1日～9月30日

■利用期間 8月1日～12月31日

■対象店舗 古川町商品券、神岡商店会連合会商品券取り扱い店

■購入場所 古川町商工会、神岡商工会議所、飛騨市役所他

■引換券 商品券購入に必要な引換券ハガキを7月中に市民の方に送付しています。

問 商工課

☎ 0577-62-8901

お知らせ

市・県民税第2期分の納期限は8月31日（水）です

■口座振替の方

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

■納付書の方

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

※毎月給与の支払いを受けている方は勤務先の事業所で給与から市県民税を差し引く方法による納税ができますので、事業主にご相談ください



問 税務課

☎ 0577-73-3742

お知らせ

特別児童扶養手当等について

心身又は精神に障がいのある方は以下の手当に該当する可能性がありますので、お問い合わせください。

■特別児童扶養手当（20歳未満の方）

- ・身体障害者手帳1級～3級と4級の一部の方
- ・療育手帳A1、A2、B1とB2の一部の方
- ・同程度の障がいのある児童

■特別障害者手当（20歳以上の方）

在宅で重度の障害が重複している等により特別の介護を必要とする方

■障害児福祉手当（20歳未満の方）

在宅で重度の障害が重複している等により特別の介護を必要とする方

※判定の結果、該当しない場合があります

問 総合福祉課 ☎0577-73-7483

お知らせ

就学義務猶予免除者等の 中学校卒業程度

病気などやむを得ない事由により義務教育を修了できなかった方に対して、中学校卒業と同等以上の学力があるか認定する国の試験が行われます。

■出願期間

9月2日（金）まで（消印有効）

■試験日

10月20日（木）

■試験会場

岐阜県総合教育センター

■合格発表

11月29日（火）

結果通知発送予定



問 学校教育課 ☎0577-73-7494

お知らせ

発達障がいまたはその傾向のある成人の集まりの場「ぴあサラダ」

いろんな個性、特徴を大切に。いろいろ混ざり合っ
てサラダのように彩り豊かな時間を一緒に過ごしませ
んか。お気軽に参加ください。

■日時 9月3日（土）13:30～15:30

第1部 13:30～

ゲームなどを通じた交流

第2部 14:30～

トークタイム

※第1部・第2部のみのご参加も可

■会場 高山市総合福祉センター 3階作業室

※オンライン参加も可（要事前予約）

■対象 18歳以上の発達障がい、またはその傾向のある方

問 飛騨圏域発達障がい支援センター そらいろ

☎0577-35-6780 sorairo@hida-jikoukai.or.jp

お知らせ

重症心身障がい児者等の 相談窓口

医療的ケアや重症心身障がいをお持ちの方が地域で安心して生活できるよう、看護師資格を持つ相談員が相談をお受けします。（相談無料）

■場所

総合保健福祉センター1階
（ハートピア内）

■時間

火曜・木曜

9:00～16:00



問 重症心身障がい在宅支援センター
みらい（医療的ケア児支援センター）
飛騨サテライト

☎080-8257-7552

お知らせ

身体に障がいがある方の パソコン利用をサポート

パソコンの基本操作や一般的なアプリケーションの使い方、障がいに
応じた入力支援機器の相談など、電話、訪問にて対応します。お気軽に
お問い合わせください。（相談無料）

■対象者

飛騨市在住で身体障がい者手帳をお持ちの方

問 福祉メディアステーション

飛騨ランチ ☎0577-34-1316

お知らせ

クイックワン宝くじ発売中

宝くじはぜひ県内売り場か、宝くじ公式サイトでご購入ください。



問 財政課 ☎0577-62-8903

イベント

飛騨市学園構想 まなびみらい会議2022（オンライン開催）

今年のテーマは「みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち」の姿とは？。令和元年度に完成した飛騨市学園構想ビジョンをよりブラッシュアップするため、参加の皆さんと子どもたちを起点に「こんなまちにしたい！」を語ったり、テーマに沿って書き出したりする飛騨市学園構想「まなびみらい会議」をオンラインで開催します。

- 日時 8月28日（日）9:00～12:00
- 対象 市内の子どもたちの教育、学びに関心あるすべての方
- 当日のプログラム

- 9:00～ 開会挨拶 飛騨市教育長 沖畑 康子
- 9:10～ 基調提案 飛騨市長 都竹 淳也
「大人が夢中であそぶこと！私の考える、人が育つ地域の未来」
- 9:45～ ブースセッション
これまでの活動実践プレゼンテーション
- 10:55～ まなびみらいビジョンワークショップ

- 参加申込 申込フォーム（右記コード）から申し込みください
※参加無料・託児あり



問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494

イベント

市長と共にふれあいトーク テーマは「消費者直結の農産物づくり」

ふれあいトークでは、第1部に市長と司会の対談形式で市の取り組みをご紹介します。第2部で地域で活躍する皆さんをゲストにお迎えし、取り組みや思いをお聴きします。

今回は、7月にオープンした「飛騨産直市そやな」を会場に、農業や食の魅力を語り合います。現地で参加される皆さんには、先着20名に美味しい試食もご用意します！ぜひご参加ください。



- 日時 8月31日（水）19:30～21:00
- 場所 飛騨産直市そやな
（古川町上町、道の駅アルプ飛騨古川内）
- その他
 - ・詳細はホームページをご覧ください。
 - ・当日はFacebookやYouTubeでも配信を行います。また後日ケーブルテレビでも収録したものを放送します。
 - ・現地での試食は先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

問 総合政策課 ☎ 0577-62-8880

イベント 天生の森と止利仏師伝説企画展 ～飛騨の匠の源流を追い求めて～

伝説の根拠となった史料展示や、飛騨内外に残る関連史跡から、止利仏師伝説の実像と足跡に迫ります。8月下旬、市HPまたはチラシ等でお知らせします。

①企画展示（入場無料）

- 日時 9月4日（日）～18日（日）
※9月6日・12日は休館
- 会場 飛騨市文化交流センター ホワイエ
 - ・匠の祖とされる止利仏師の伝説に迫る。
 - ・「天生の森」動画、河合村当時の活動記録を紹介
 - ・「法隆寺金堂釈迦三尊像（クローン文化財）東京藝術大学COI拠点制作」展示

②講演会

- 日時 9月4日（日）午前10時～
- 会場 飛騨市文化交流センター 小ホール
 - ・古代ロマンに想いを馳せ止利仏師伝説を今に伝える
講師：郷土史家 安達康重氏
 - ・田口理子氏による紙芝居実演ほか

問 河合振興事務所 ☎0577-65-2221

募集 動画オンライン配信入門講座

コロナ禍で一気に活用が広がった動画のオンライン配信。その基本を学ぶ講座を開催します。興味がある方、仕事に活用したい方など気軽にご参加ください。（参加無料）



- 日時 9月3日（土）2会場で開催
14時～16時 神岡町公民館3階会議室
19時～21時 飛騨市図書館2階にじのひろば
- 講師 鮎飛龍男氏（ひだ販促企画）

■講座内容

- ・オンライン配信の種類・用途
- ・オンライン配信の機材
- ・ライブ配信のメリット
- ・番組の配信方法
- ・伝わりやすくする工夫
- ・オンライン配信の未来
- ・配信番組の企画と台本作成

■参加申込

下記に電話または右記コードから申し込みください。



問 総合政策課 ☎0577-62-8880

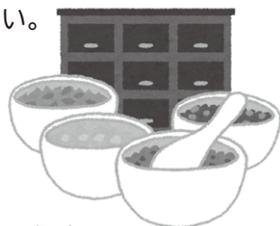
お知らせ 飛騨市薬草フェスティバル 2022

年に一度の薬草祭典！薬草に関連するワークショップ、クイズラリー、料理提供、商品販売、展示、勉強会を行います。

- 日時 9月11日（日）
10:00～15:00
- 場所 古川町内各会場・店舗

市内の入浴施設で薬草風呂や野草茶の試飲などを楽しめる薬草週間もあわせて開催予定。

詳しくは別途チラシやホームページでお知らせします。皆さんぜひご参加ください。



問 まちづくり観光課

☎0577-73-7463

お知らせ 公民館講座 わくわくネイチャーゲームと青竹パン作り

子どもは自然のものを何かに見立てて遊ぶことが得意です。



森の中を教室として、自然に親しむ秘訣を教えます。また、青竹に巻いて炭火で焼き上げるパンも作ります。味は、格別です。

- 日時 9月18日（日）
9:00～12:00
- 講師 中谷和司氏
- 会場 河合スキー場（雨天中止）
- 対象 小学4年生以上
- 料金 1,000円
- 定員 20名（抽選）
- 申込 古川町公民館 0577-73-6115
までお申し込みください。

問 生涯学習課 ☎0577-73-7495

イベント 公民館講座 達人に学ぶ！ ワイン講座

ワイン産地の歴史と発展、ワインの基礎的な知識や食事との相性等について学びます。注ぎ方や温度、グラスの形状で味や香りに変化ができます。実際に数種類を試飲してその違いを確かめます。



- 日時 9月9日（金）
19:00～21:00
- 講師 坂本雄一氏
（仏ワインコンセイエ）
- 会場 古川町公民館
- 対象 一般
- 料金 3,000円
- 定員 20名（抽選）
- 申込 古川町公民館 0577-73-6115
までお申し込みください。

問 生涯学習課 ☎0577-73-7495

イベント

ワダアスカのワークショップ

「ワダアスカのワークショップ-絵本の読み聞かせとモバイル工作-」を開催します。

絵本作家であるワダアスカ氏による読み聞かせで、絵本の世界をより身近に感じることができます。モバイル工作のワークショップも行います。自分だけの龍を作りましょう！（参加無料）

- 日時 9月10日（土）
午前の部（飛騨市神岡図書館）
10:00～11:30
（定員15人）
午後の部（飛騨市図書館）
14:00～15:30
（定員25人）

※8月10日（水）より、図書館カウンターまたは電話で予約開始



問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600
飛騨市神岡図書館 ☎0578-82-1764

図書館においでよ 新着図書ピックアップ

大人向けのオススメ



『気候危機がサクッとわかる本』
森 朗・森田 正光/監修
ウェザーマップ/著 東京書籍
最近の気候変動について、図やイラストを使ってわかりやすく解説した1冊。夏のゲリラ豪雨や台風、積乱雲などについても学べます。

問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600 <https://hida-lib.jp>

子ども向けのオススメ



『さかなくん』
しおたにまみこ 偕成社
学校は好きだけど、走るのが大変で体育が嫌いなさかなくん。落ち込む友達に何ができるのか、友達のあたたかさを感じられる絵本です。

イベント

よりよい図書館にするためにアンケートのお願い

- 回答期間 7月15日（金）～8月31日（水）
- アンケート用紙設置場所 飛騨市図書館・飛騨市神岡図書館
河合振興事務所・宮川振興事務所
- 右記コードからご回答ください。



問 飛騨市図書館 ☎0577-73-5600 飛騨市神岡図書館 ☎0578-82-1764

募集

市営住宅入居者の募集

公募住宅	新栄町団地	杉崎団地	諏訪田団地	昭和町団地	山之村団地	宮川団地	西忍団地	打保住宅
種類	特公賃	公営	公営	地優賃	公営	特公賃	公営	特定
募集戸数	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 3戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 2戸	(単身用) 1戸
所在地	古川町新栄町	古川町杉崎	古川町杉崎	神岡町殿	神岡町森茂	宮川町林	宮川町西忍	宮川町打保
構造・規模	S造3階建	S造2階建	RC造5階建	RC造4階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	3DK	3LDK	2DK	2DK	2LDK	2LDK	3LDK	2DK
家賃	入居者の所得に応じて決定							
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途	共益費別途	共益費別途

- 敷金 家賃の3カ月分
 - 申込期間 8月24日（水）～8月31日（水）
 - 入居予定日 10月1日（土）
- ※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造
- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
 - ・個人番号の記載箇所があるため郵送での受付ができません。都市整備課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 都市整備課 ☎0577-73-0153（古川・河合・宮川） 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎0578-82-2254（神岡）

お知らせ

ものわすれ相談窓口「オレンジの森」の出張相談所

市は昨年度より民間介護事業所と連携し、認知症における地域対応力のさらなる向上を目指し、ものわすれ相談窓口として古川町に「オレンジの森」、神岡町に「なないろ」をオープンしました。今回、河合町、宮川町でも出張所を設けます。予約制となりますので、下記までお申込みください。

■出張所 日時・場所

- ・毎月第2水曜日 9:00～12:00 河合町保健福祉センターすこやか館
- ・毎月第4水曜日 9:00～12:00 宮川町公民館

■相談内容等

認知症の方ができる限り住み慣れた良い環境で暮らし続けられるよう、「認知症地域支援推進員」がかりつけ医や認知症疾患医療センター、介護サービス事業所等と連携して認知症の方やそのご家族のご相談を伺います。

☎ オレンジの森 ☎ 090-1408-1017

お知らせ

『自殺予防週間』9月10日～16日

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年9月10日から16日までの一週間を「自殺予防週間」として定めています。様々な悩みを抱えている方は、一人で悩まず、専門の相談機関にご相談ください。

飛騨市では、こころの相談窓口を次のように開設しています。つらいことや苦しいことがあれば、無料ですので予約の上ご相談ください。

こころの健康相談統一ダイヤル 0570-064-556
 よりそいホットライン 0120-279-338 (24時間対応)
 支援情報検索サイト <http://shienjoho.go.jp/>

☎ 地域包括支援センター神岡 ☎ 0578-82-1456

こころの健康相談カレンダー（令和4年度版）

相談名	飛騨市 こころの相談室	飛騨保健所 精神保健福祉相談 (こころの健康相談)	飛騨保健所 法律とこころの相談会	飛騨保健所 ひきこもり相談	県精神保健福祉 センター 酒害相談
内容	・精神保健福祉士が対応 ・通院中の方や家族の相談も可能	・精神科医師と保健所保健師が対応 ・主治医のない方に限る	・弁護士と臨床心理士が対応	・精神科医師やひきこもり支援コーディネーターが対応	・高山断酒会会員が対応
時間	13:00～15:00 予約制・無料	13:30～15:00 予約制・無料	13:00～16:00 予約制・無料 (1人45分程度)	13:00～15:15 予約制・無料	13:00～15:00 無料
場所	ハートピア古川	下記をご覧ください	飛騨総合庁舎 2階	下呂市萩原保健センター	高山市総合福祉センター
予約先	0577-73-2948 古川町保健センター	0577-33-1111 (内線312) 飛騨保健所	0577-33-1111 (内線311) 飛騨保健所	058-231-9724 県精神保健福祉センター	058-231-9724 県精神保健福祉センター
9月	1日(木)		8日(木)・30日(金)		18日(日)
10月	6日(木)	19日(水) 宮川町保健センター			16日(日)
11月	10日(木)	16日(水) 神岡町保健センター	11日(金)	21日(月)	20日(日)
12月	1日(木)	14日(水) ハートピア古川	多重債務・解雇・生活苦・病苦・家族関係の悩みなどが原因で、心の健康に支障をきたしてしまうことがあります。一人で悩まないで、相談してみませんか	ひきこもりに悩む方やそのご家族の方が対象です(精神疾患のためのひきこもりは対象ではありません)	アルコールでお悩みの方やそのご家族の方の相談を断酒会の会員がお受けします。経験者のお話を聞いてみませんか。
1月	12日(木)	飛騨市以外でも開催しています。飛騨保健所にお問い合わせください。			
2月	2日(木)				
3月	2日(木)				



相談窓口情報を悩み別に検索できるサイト(コード)です。
電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル TEL0570-064-556



相談コーナー					
相談名・相談内容	要予約	実施日	時間	場所	問い合わせ
若者就労相談 (若者を対象とした就労相談)	○	9/7(水)、14(水) 21(水)、28(水)	13:00～16:00	古川町公民館	県若者サポートステーション ☎0577-35-4770
ビジネスサポート相談 (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	○	9/21(水)、22(木)	10:00～17:00	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
		9/21(水)	13:00～17:00	神岡商工会議所	商工課 ☎0577-62-8901
ハローワーク出張相談 (職業相談、シルバー人材入会説明)	-	9/27(火)	11:00～15:00	古川町公民館	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
		9/12(月)	13:00～15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
こころの健康相談 (精神科医師によるこころの相談)	○	8/24(水)	13:30～15:30	神岡町保健センター	飛騨保健所 ☎0577-33-1111(内線312)
こころの相談室 (精神保健福祉士によるこころの相談)	○	9/1(木)	13:30～15:30	ハートピア古川	古川町保健センター ☎0577-73-2948
消費生活相談員による無料相談 (専門の消費生活相談員が消費生活にかかる相談)	○	9/7(水)	10:00～15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461
もの忘れ相談 (もの忘れ・認知症の相談)	○	9/28(水)	9:00～12:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院	認知症地域支援推進員 ☎080-7095-6575(火・水・金)
	○	9/15(木)	9:00～12:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5 ツタビル2階 (1階にコインランドリーあり)	認知症地域支援推進員 ☎090-1408-1017(月～金)
認知機能チェック および 脳トレ	○	9/22(木)	9:00～12:00		
もの忘れ相談	○	9/14(水)	9:00～12:00	河合町 すこやか館 河合町角川318	認知症地域支援推進員 ☎090-1408-1017(月～金)
	○	9/28(水)	9:00～12:00	宮川町公民館 宮川町林50-1	

募集

広報ひだ表紙の写真の大募集！

あなたが撮影した写真が飛騨市全域に配布される「広報ひだ」の表紙になるかも！？
「広報ひだ」の表紙にふさわしい写真で、次の事項に当てはまるものを募集します。
応募いただいた写真から選考し、10月号(10月15日発行)、1月号(1月15日発行)に掲載予定です。飛騨市の魅力が詰まった写真をお待ちしています。

広報ひだ 2022年 No.229

表紙写真大募集！

～あなたの写真が10月号・1月号の表紙に～



■募集期限 10月号掲載分 9月16日(金)
1月号掲載分 12月16日(金)

■募集写真

※詳細の募集要項は飛騨市ホームページでご覧いただくか、下記までお問い合わせください。

○ご自身で撮影された縦の写真。

○表紙写真のイメージは、飛騨市の特徴を表現したもの。
・市民の活躍、賑わい、楽しみや元気を感じられるもの
・飛騨市の絶景スポット、おすすめスポットなど

○3MB以上のデジタルデータで提供できるもの。

問 総合政策課 ☎0577-62-8880



古川中学校では、「生徒が様々な場面で多様な人々とふれあい、『自分らしさ』を発見・レベルアップする」「地域人として、学校内外の貢献活動を通して自己有用感を高める」を目標に地域と学校、人と人とのつながりを大切にしています。今年度、挑戦中の活動を紹介します。

◆学習内容を1・2・3年生で「つなぐ！」

中学3年間の「総合的な学習の時間」では、「生徒が地域をより深く知り・関わり（探究）、自分に何が

できるのか考え行動する（貢献）」と目標を決めました。1年生は、小学校で学んだ地域のよさを再確認し、地域の「防災」を探究し、発信します。2年生は、市内外の様々な仕事を知り、「職場体験」を通して地域と深く関わり、地域で働く人々の思いや生き方にふれます。3年生では、地域や日本、世界に貢献する人々の思いや生き方を知り、地域で何ができるのか考え、挑戦します。こうして、学習内容を3学年でつなぎ、「未来の創り手」を育てていきます。

◆地域や他校と「つなぐ！」

「創り手」の育成には、地域の方々の専門的な知見が必要です。地域には「防災」や「職業」、「貢献」に関する多くのスペシャリストがいらっしゃいます。その方々と学校をつなぐ、学校運営協議会委員と地域学校協働活動推進員や学年の授

業や講話を調整していただく「地域コンシェルジュ（CC）」の方々に助けていただいています。さらに「MSJリーダーズ」等、小学校や高校、特別支援学校とコラボした「挨拶運動」や「環境美化」等の連携活動も計画、実施していきます。

◆「創り手プロジェクト」へ「つなぐ！」

「地域に元気を届けるプロジェクト」と題し、文化系部活動の演奏や作品を地域の方々に届け、元気になっていただく試みを生徒が考え計画しています。7月下旬には、市図書館横にある「希望の壁画」の前で、吹奏楽部がミニコンサートを行い地域の皆さんに喜んでいただきました。このように生徒が考え・自分らしさを発揮して、地域の役に立つ「貢献」の思いや姿を今後も育て、実施していきます。

問 学校教育課 ☎0577-73-7494



スイカ

例年より早く梅雨明けした今年、連日暑い日が続きますね。

飛騨も近年、夏の暑さがこれまでの常識を超えることが多くなり、エアコンを導入する家が増えてきました。快適になる一方で、冷房によるだるさを感じられるようになっていきますし、夏の暑さの疲れはこれから出てきます。

この暑さを乗り切るには、実は積極的に外に出て汗をかくことが大事です。そして、暑さの中で外に出るには水分を取ることが重要になって

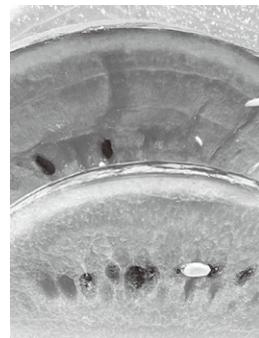
きますし、汗など水分を排出するにはミネラルが必要です。十分なミネラルが体にあれば、熱中症で倒れたりする心配も少なくなります。そのためには食べることが大切ですが、アイスクリームや、具の少ないソーメンばかり食べていてはミネラルの補給はできません。

そんな時にいいのがスイカです。この時期スーパーにも並びますし、自分の家の畑で作っているという方もいるでしょう。スイカはカリウムなどミネラル分が豊富で、利尿作用により余分な水分の排出ができ、むくみも解消します。スイカの爽やかな甘さは、夏の暑さにやられて食欲が進まない時でも食べやすく、腎臓を強化してくれるので、疲れ知らずにしてくれます。

普通、スイカの種は捨てていますが、台湾などではスイカの種も食べます。そのためスーパーなどにもス

イカの種がお菓子として売られているほどです。種はミネラルなど栄養が豊富です。煎って食べてみるのもいいですね。スイカに多く含まれるシトルリンという成分は動脈硬化に効果があると注目されています。

美味しくスイカを食べてミネラル補給ができ、夏バテ防止になるなんて、うれしいですね。ぜひ試してみてください。



効能	腎臓病、腎炎、利尿、浮腫、尿路結石など
採取先	畑、スーパー、産直市場など

問 まちづくり観光課 ☎0577-73-7463

まめとく減塩協力店をご利用ください

まめなかな

熱中症を 予防しましょう

夏本番になり、熱中症の危険も高まってきました。

熱中症は「環境」と「からだ」と「行動」によるものが考えられます。

「環境」は気温や湿度が高い、風が弱いなど外的な因子のことです。

「からだ」は下痢や発熱などで脱水をしている時、二日酔いや寝不足で体調不良なときなどです。

「行動」は、炎天下の長時間の作業や水分補給しない、できない状況、激しい筋肉運動やなれない作業をする状況です。

汗をかいて気化熱により体温が調整できるうちは大丈夫ですが、熱がなくなると危険な状態になります。熱中症を予防するにはどうしたらいいでしょうか。

①服装は大事

夏でも高齢者の方は服を着こみがちですが、日中はなるべく風通しの良い服装で体温調節をしましょう。下着も吸湿性や速乾性に富んだものを選ぶことによって、発汗による体温調節がしやすくなります。

②水分補給はぼちぼちと

汗をかくことで体温調節をしますが、汗となる水分は、体内の水に他なりません。出た水分はちゃんと補いましょう。水分補給は、一口ずつ、30分おきにするほうが、小腸でしっかり吸収することができます。

汗の塩分濃度は血液塩分濃度の0.9%とほぼ一緒です。ということは、1ℓ汗をかけば、1gは塩分

が失われるということです。普段の生活では、何ℓもの汗は出ません。そのため、食事が3食食べられていれば、必要な塩分は体内に入っています。普段なら水や麦茶をポチポチ飲むのが一番の脱水予防です。マスクをしていると水分補給を忘れがちですが、時間を見てちゃんと飲みましょう。体調が悪かったりしたときは、経口補水飲料なども上手に活用してください。

③我慢は禁物

朝晩が涼しい飛騨です。朝から家にいると、エアコンを入れるタイミングを逃し、室内でも知らないうちに熱中症になるケースがあります。部屋の温度や湿度を確認してエアコンや扇風機を活用しましょう。「このくらいなら大丈夫は」熱中症のもとです。

問 古川町保健センター
☎0577-73-2948



そろそろ 終活

<その29> はじめませんか？

ありのままの人生を 引き受ける

自分は終末をどんな状態で迎えることになるのだろう…誰もが一度は考えることです。そして、できれば健康で長生きし、最後は寝込むことなく『ピンピンコロリ』と逝けたらいいなあと思う人は多いものです。

最近ではエンディングノートを作成される方が増えていますが、ノートには『介護』に関する項目があり「どこで介護を受けたいか」「誰に介護してもらいたいか」などを書き込むようになってきました。介護についての希望で、よく「できれば自宅

で介護してもらいたい」「家族に迷惑をかけたくないので施設に入りたい」などと言われますが、実際はこうした希望や計画は、なかなか思い通りにはならない場合も多く、とくに特別養護老人ホームなどの入所に関しては、待機者も非常に多く、必要なタイミングですぐに入居できないのが現状です。

介護や終末期を考える時『どのようになりたいか』という自分の希望をはっきりとさせることは、とても大事なことです。そこには実際の介護状態や終末期の状態で、大きく違ってくることもあるということを認識しておく必要があります。

また、介護についての希望をはっきりと書き示すことで、家族にとって大きな負担になることもありますので、介護の希望を書き記すのなら、最後に「状況によっては家族（親族など）に任せます」などの一

言を添える配慮も必要です。

しかし、そうは言っても実際は、希望通りの介護が受けられない状態を本当に自分は受け入れられるのか、という大きな課題もあります。

私たちは、先人の有様を見るにつけ「こんな症状の認知症にはなりたくない」だの「介護度が重い寝たきりの生活は送りたくない」などと、不安に恐れおののく事もしばしばですが、どういった状況であっても『ありのままの人生を引き受ける自分を見つけしていく』そんな強さも終活を考える中では必要になってくるのかもしれない。

ご希望があれば、自宅訪問での終活相談もお受けします。お気軽にお問い合わせください。

問 予 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)
☎0577-73-3214

2022年7月31日現在（敬称略）

ご結婚

お名前	住所
中切 虎太郎	宮川町打保
甲谷 晴夏	神岡町坂富町
西浦 圭祐	神岡町殿(昭和町団地)
黒田 愛	神岡町殿(昭和町団地)

お誕生

お名前	住所	保護者
【古川町】		
岩村 麻央	袈裟丸	祐貴・美枝
尾上 未来	向町二丁目	元隆・紗苗
重山 笑那	中野	諒太・美輝
【神岡町】		
坂下 莉希	殿(サンアルプ旭B)	幸輝・結花
吉原 咲夏	江馬町(沖野鉄筋社宅)	和樹・望

お悔み

お名前	住所	年齢
【古川町】		
谷口 治雄	上町	(87)
荒家 政江	貴船町	(86)
田近 武	上野	(55)
竹原 美嗣	上野	(81)
重田 レイ子	栄一丁目	(93)
谷口 静香	杉崎	(92)
塚腰 あき子	下気多	(88)
道下 キヨ子	片原町	(87)
森本 鈴子	上気多	(86)
野村 昌男	片原町	(88)
清水 作郎	中野	(103)
溝口 てる	太江	(104)
白井 きぬ	壺之町	(102)
【河合町】		
堂前 保郎	角川	(91)
盤所 宏	角川	(97)

【神岡町】		
山下 智成	東雲(西野町1)	(64)
清水 富喜雄	夕陽ヶ丘(江馬7)	(88)
吉中 正昭	石神	(79)
新谷 紀美子	城ヶ丘	(82)
山崎 靖之	館野町(弥生3)	(80)
檜木 一男	山田	(90)
宮前 公司	柏原(柏原2)	(90)
水口 昌子	殿(昭和町1)	(82)
青柿 廣司	吉田(吉田塩野)	(89)

「おくやみ情報ひだ」で 詳細情報をお知らせ

市ではこれまで市ホームページでおくやみ情報（葬儀情報）を掲載してきましたが、掲載できる情報量が限られるという課題がありました。

そこで今年度から市民ニーズに応え、より詳しくわかりやすく葬儀情報をお知らせするため、民間の葬儀情報サイトと連動を図ることとしました。

ぜひご利用ください。



おくやみ情報ひだ



- 亡くなられた方の氏名
- 葬儀日時
- 喪主名
- 葬儀場の情報



人口の動き (8月1日現在 住民登録人口)

男	女	計	世帯数
10,965	11,696	22,661	8,828
出生	5	転入	44
死亡	33	転出	57
高齢化率	40.06%		

町別人口内訳

古川町	13,790
河合町	835
宮川町	566
神岡町	7,470

消防の状況 (7月31日現在)

本年累計	火災	救急
飛騨市	4	670
その他 (管外出勤)	0	0
前月比	0	117

交通事故の状況 (7月31日現在)

	人身交通事故			物損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	9	2	13	253
昨年同期	13	1	16	224
増減	-4	+1	-3	+29



飛騨市役所



ホームページと SNS でまちの話題を配信中！

7/2

講演「茂住菁邨書展一言霊の響一」が始まりました 講演会や書道教室も行われました

飛騨市美術館企画展「茂住菁邨書展一言霊の響一」が8月21日までの会期で始まりました。

茂住さんは古川町出身。書家として活躍される一方、内閣府辞令専門職として歴代総理大臣や国務大臣の辞令書などの揮ごうにあたられました。新元号「令和」の発表の際、官房長官が掲げた墨書を揮ごうされたことでよく知られています。

今回の展覧会では、茂住さんの41年間にわたる辞令専門職としての活躍や、書家としての足跡を振り返っています。

初日には開会式とテープカットなどが行われ、茂住さんは「今日このオープンを迎えられるのが本当に信じられない思い。

好きというだけで始めた書道が、こんなにたくさんの人に見てもらえるとは。退職まで無事勤めさせていただき、なおかつ書をこうして全て見せる機会を得たということは本当に幸せです」と感謝の言葉を述べられました。



7/3

飛騨市消防操法大会 消防団負担軽減の新要求で実施

カメラ 特レポ

消防用の小型動力ポンプを使って消火技術や早さなどを競う飛騨市消防操法大会が、古川小学校グラウンドで開催されました。コロナの影響で開催は3年ぶり。

市内12チームが出場し、1チーム4人の隊員が連携して火に見立てた的に水を当てるタイムを競い、規律や消火技術、安全管理も評価し、総合的に優秀なチームが表彰されました。

大会が団員や家族の負担になっていることから全国的な大会規定の改定があり、今大会は手足の動きをシンクロさせる集合動作などが見直され、過度な訓練の抑制が図られました。

審査の結果、古川方面隊第1分団第1部が優勝しました。

同チーム指揮者の吉田将さんは「5月から週4日の練習を続けてきました。家族の理解や周りのサポートのおかげです。将来、子どもたちが火を消すことではなく、火を出さないことに尽力してほしい」と話されました。



7/4

宮川小児童と地元シニアクラブが交流 おじいちゃん・おばあちゃんからカローリング学ぶ

カメラ 特レポ

地域住民との交流が盛んな宮川小学校で全校児童7人と地元シニアクラブのメンバー16人が参加して「カローリング交流」が開かれました。

この日は、シニアクラブのお年寄りからルールを教えもらい、ミニゲームも楽しみました。児童たちはちょっと力が入ると行き過ぎてしまったり、思うように転がすことができないストーンに手を焼いていましたが、コツがわかると次第に得点枠近くにストーンが集まり、夢中になって楽しんでいました。

6年生の中谷佳暖さんは「ストーンを転がす力加減がむずかしかったけど、いろいろアドバイスしてもらったおかげで相手のストーンを飛ばすこともできるようになり、楽しかった。また交流したいです」と笑顔を見せていました。



7/6 新 台湾新港郷公所新庁舎の完成式典 庁舎ロビーに飛騨古川展示室を設置

友好都市台湾新港郷公所の新庁舎が完成したことを祝う式典が、オンラインで開催されました。飛騨市からは都竹市長、澤市議会議長を始め、市民ら50人余が参加。新港郷から送られてきたピンク色のTシャツを着てお祝いしました。

新庁舎の1階ロビーには飛騨市の展示室が設置され、飛騨市から寄贈した起し太鼓のわら細工、古川祭の獅子頭、衣装、提灯やつるし飾り、千鳥格子、さるぼぼ、広葉樹の雑貨、飛騨市の地酒の瓶などが展示されました。

林茂盛郷長は「コロナの影響で迎えることができませんでしたが、遠く離れていてもオンラインで一緒にお祝いでき、大変嬉しいです」「コロナが終息し、会える日が来ることを願いつつ、これからも交流が深まることを心から期待しています」と感謝の言葉を述べました。



7/10 記 NPO法人神岡・町づくりネットワーク設立20周年 記念モニュメントや重機展示の完成・披露

「レールマウンテンバイク・ガッタンゴー」を運営するNPO法人神岡・町づくりネットワーク（鈴木進悟理事長）が設立20周年を迎え、同町の旧奥飛騨温泉口駅で記念モニュメントの除幕式を開きました。

モニュメントは、神岡鉱山で鉱石の分別に使われた直径3メートル、重さ3トンの歯車に、坑道の線路とレールマウンテンバイクを組み合わせたものです。このほか福井県旧和泉村の中竜鉱山で使われた削岩機や鉱石運搬車両も展示して「鉱山の町・神岡」をアピールしています。

除幕式には神岡鉱業など地元経済界を始め、市と市議会関係者らが参加。鈴木理事長が感謝の言葉を述べました。都竹市長は「子供たちもこのモニュメントを見て、町の歴史を知りたいという願望が現れるのでは」と祝辞を述べました。



7/15 赤 赤ちゃんとママ、パパのための防災講座 赤ちゃんを抱えての防災について学びました

1歳未満の子をもつ市内在住の家庭や妊婦さんのいる家庭を対象にした「赤ちゃんとママ、パパのための防災講座」が古川町保健センターで行われました。

この日は、アウトドア防災ガイドの、あんどうりすさんを招き、幼い子と家族を守るための暮らしの知恵などを学ぶ講座で、当日は親子11組が参加しました。

あんどうさんは、災害時に暮らしを守る対処法にはアウトドアの知識やグッズが役に立つと説明し、普段からの情報収集や備蓄、危険回避の方法などをアドバイスしました。

古川町の室屋佳夕さんは「初めての子どもで、これまで子どもを抱えての防災を学んだことがなく、対策も考えていませんでした。話を聞いて実際に使える物なども分かり、勉強になりました。紹介されたグッズやスマホアプリを暮らしに取り入れていきたい」と感想を話していました。





7/15

河「地域学校協働活動」の一環で住民が披露 合小で絵本の読み聞かせとバイオリン演奏

河合小学校で、地域の方々による絵本の読み聞かせとバイオリン演奏が行われました。子どもたちの学びや成長を地域全体で支える「地域学校協働活動」の一環で、河合駐在所の吉川浩史・尚美さんご夫妻が、河合町稲越の井関美穂さんのバイオリン演奏に合わせて「イヌと友達だちのバイオリン」(デヴィッド=リッチホールド作)を朗読しました。

児童たちは絵本の朗読と、普段見聞きできないバイオリンの生演奏で楽しいひと時を過ごしました。6年生の河渡悠月さんは「音楽が好きで、家に帰るとよくギターを弾きます。バイオリンの生演奏はめったに聴きませんが、旋律がとても美しく心が安らぎました」と笑顔を見せていました。吉川尚美さんは「朗読は大好きで時々読み聞かせをさせてもらっています。バイオリンの音色が美しく、今日は気分が乗ってとても楽しく読めました」と話していました。



7/19

船 神岡民謡保存会の皆さんが指導 津盆踊りを学んだ成果を披露しました

総合的な学習の一環として地域の伝統文化について学んでいる神岡小学校の3年生児童が同校体育館で、神岡民謡保存会の皆さんと一緒に盆踊り体験をしました。

6月中旬から3回にわたり、神岡民謡保存会(永田雅人代表)の皆さんから「船津盆踊り」について学習しました。この日は会員の皆さん12人が同校を訪れ、生唄、太鼓や三味線の生演奏などを披露。また、同会の法被や編み笠も用意し、着用する体験も行いました。児童らは、会員の皆さんと一緒に輪をつくり、これまでの成果を披露しました。

踊りを終えた大坂桃矢さんは「最初は難しいと思ったけど、慣れてくると簡単になった。皆で踊ると、どんどん楽しくなりました。せっかく覚えたので、これからも踊りたい」と感想を話しました。



7/30

古 富加町拠点の鳴子踊りチーム半布里 川祭をテーマにした踊りを披露

毎年8月に名古屋で開かれる日本最大級の踊りの祭典「にっぽんど真ん中祭り」のファイナルの常連で、加茂郡富加町を拠点に活動する鳴子踊りチーム「半布里(はぶり)」が、まつり広場で、古川祭をテーマにした踊りを披露しました。

チーム結成20周年を迎え、「古川祭」をテーマにした踊りを完成させたことから「古川の皆さんに観てほしい」と、急きよ古川町で披露。大勢の市民の前でメンバー約70人が華麗な衣装を身にまもって音楽に合わせて踊りました。

代表の山田将太さんは「皆さんの心に残り、感動してもらえたら。コロナ禍で元気づけたい」とあいさつされ、「踊りのテーマである飛騨古川の地で、古川祭に関わる方々に踊りを見てもらえることが大変うれしい。古川祭の魅力が伝わるように考え、踊りを作った。どまつりで大賞を取って、古川祭の魅力を全国に発信したい」と意気込んでいました。



飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

生息数が減少している
日本みつばちを応援したい！

飛騨日本みつばちの会



▲ハチたちの努力の結晶をいただきます。



▲市長室の裏に巣箱を設置しています。



▲せっせとお仕事している姿に癒されます。



今、全世界でみつばちがいなくなりつつあることをご存じですか？一説にはみつばちが絶滅すると、地球は人間が住めない場所になるともいわれている環境のバロメーター。飛騨でもすでに自然環境で生息する日本みつばちが減少しています。

環境のためにも、未来の飛騨のためにも、そんな日本みつばちを応援したいという思いで結成されたのが『飛騨日本みつばちの会』。今回は現会長の岡田さんとメンバーの末永さんにお話を伺いました。

元々飛騨地域で養蜂をしていた方々を中心に結成され、メンバーは飛騨市、高山市、下呂市と幅広く、情報交換をしたり、蜜源になる植物を植えたり、勉強会を行ったりと、個人ではできなかったことを協力し合って活動をさせています。現在メンバーは約40人。半分くらいが養蜂経験者で、半分は新規に始めた人だそう。みつばちは奥が深く、互いに教えあいながら試行錯誤を続けています。

みつばち飼育の良さを伺うと、「一生懸命働いているみつばちを見ていると癒されるんですよ。仲間の中でも、愛犬を亡くして落ち込んでいた奥さんが、みつばちを毎日眺めているうちに少しずつ元気になったという方もいました。高齢者の生きがいとしてもとてもお勧めです。」とのこと。

最近では、市民にも広く日本みつばちや環境について知っ

てほしいと、小さなまちづくり応援事業を活用して映画の上映会をしたり、休耕田などを活用して花や木を植える計画をしたり、身近に目にしてもらえるようにと市役所の市長室裏に巣箱を設置したりと活動を広げています。

「小さい命を大事にし、大きな自然に関わる人が増えていってもらえたら。今後も仲間づくりをしながら、自然に日本みつばちが生息できるよう応援するのが目標です。」と熱くお話しいただきました。

まずその一歩として、8月には親子向けのイベントを開催される予定です。是非皆さんでご参加ください。

【イベント情報】 日本みつばちに触れよう!!

開催日：8/28（日）

時間：（第1部）13：30～14：15頃
（第2部）14：30～15：15頃

内容：※事前予約制

- ①日本みつばちの会紹介コーナー
- ②試食体験 巣からはちみつを掬ってみよう!
- ③みつろうロウソク作りコーナー

場所：千代の松原公民館

定員：親子15組程度（1部ごとに）※市内外問わず

※新型コロナウイルスの感染状況に応じ、急遽中止、または内容変更となる場合がございますのでご了承ください。

はちみつの
プレゼントも
あります!

基本情報

設立：2019年4月

活動場所：飛騨地域

主な活動：日本みつばちの保護と飼育、良質なはちみつ提供のための、蜜源植物の植樹、PR、勉強会など

▼一人で出来ないこともみんなとなら。



▲ふるさと納税でも販売中!

飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

